

2月定例会の概要

会期 2月20日から3月17日までの27日間

会期中の主な動き

特別委員会の開催

- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会…3月9日
- 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会…3月9日

一般質問議員 18人

3月3日(火) | 3月4日(水)

尾崎 太郎 中 拓哉	堀 龍雄 高田 由一 浦口 高典 佐藤 武治
---------------	---------------------------------

3月5日(木) | 3月6日(金) | 3月9日(月)

秋月 史成 片桐 章浩 楠本 文郎 川畑 哲哉	多田 純一 藤本真利子 北山 慎一 中西 徹	山家 敏宏 林 隆一 中西 峰雄 井出 益弘
----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	35件	令和2年度和歌山県一般会計予算 等	可決
条例案件(//)	38件	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の一部を改正する条例 等	
その他案件(//)	15件	令和2年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	
意見書	3件	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書	可決
		難聴者の補聴器購入への公的支援を求める意見書	
		中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約)

新型コロナウイルス感染症対策

問 政府の要請に対する本県の特徴ある対策は何か。

答 おおむね政府の要請に沿う形で県の方針を決定しましたが、県民の生活を守る観点から、県の実情に合った施策も講じています。学校の休校措置の関係では、子供のために保護者が仕事を休まざるを得なくなると、県民の生活や経済に大きな影響が出ることから、各市町村教育委員会に対して、児童の小学校での預かりを要請しました。また、感染の拡大防止の関係では、風邪で診療所を受診しても症状が改善しない場合は肺炎を疑ってCT検査などを行い、肺炎患者であればPCR検査を実施するよう医師に勧めています。県としては、感染が大幅に拡大する場合、柔軟に対応することとしています。

問 中小企業者に対する金融支援の状況はどうか。

答 県では、事業者の資金需要へ迅速に対応できるよう、2月から全国に先駆けて、金融支援として県の制度融資である「経営支援資金」の対象要件を緩和し、3月2日までに、29件の相談がありました。また、国の雇用調整助成金については、主に観光バス等の事業者や旅館・ホテル業の事業者から、3月2日までに38件の相談が寄せられています。

問 臨時休業中の特別支援学校に在籍している幼児・児童・生徒の居場所づくりの状況はどうか。

答 各学校では、保護者と連携し、現段階においては、子供たちが家庭や障害福祉サービスを活用し、安心して過ごしている状況について把握しています。特別支援学校に在籍する全ての幼児・児童・生徒の安全と健康、そして、保護者の安心を確保できるように、関係機関や特別支援学校と連携して丁寧な対応をしていきます。

令和2年度の当初予算案

問 県勢発展に向けて、現在の状況の認識と予算編成に当たってどのような点に留意したのか。

答 持続可能で元気な和歌山県を実現するため、県長期総合計画の施策体系に基づき様々な政策を講じており、本県が再び発展するための礎が積み重なってきました。これからも人口減少対策や防災・減災、国土強靱化対策などを着実に進めるとともに、将来を見据え、成長分野にチャレンジしていかなければなりません。また、一方で社会情勢の変化に伴う新しい問題にも時宜に応じて対応し、政策を見直す必要があります。令和2年度の新政策は、子供を安心して育てる環境を充実する、働き手を確保する、新産業の創出・先端技術導入を加速化する、いのちとくらしを守る、地域の魅力を高めるといった5つの視点を重点事項としています。このような新政策を盛り込んだ予算は過去10年間で最大の5905億円となりましたが、財政調整基金の取崩しを行うことなく収支不足額を解消し、財政調整基金・県債管理基金残高も、中期行財政経営プランの想定を上回る額を確保するなど、必要な施策の展開と、財政の健全性を両立させた予算に仕上がりました。

次代につながる漁村づくり支援事業

問 担い手不足解消のため、事業要件を見直す必要があると考えるがどうか。

答 漁業研修の対象者については、県では国基準に合わせ、指導者との関係が3親等以内を除くこととしていたが、担い手の減少が大きいことや漁業者等からの要望も踏まえ、要件の見直しを検討していきます。

クビアカツヤカミキリの予防対策

問 昨年、幼虫による被害がかつらぎ町で確認されたが、今後の予防対策についてどうか。

答 発生拡大を防ぐには、初期段階での封じ込めが重要です。県職員が農地等で調査を行うとともに、県民の方には発見した場合の連絡をお願いしています。さらに、国の研究機関や被害発生府県、農薬メーカー等の共同研究に本県も参画し、防除等の研究に取り組むなど、あらゆる対策を講じて、被害拡大の防止に万全を期していきます。



クビアカツヤカミキリ